



2016年3月期 第3四半期決算説明資料

2016年1月22日

P3 第3四半期 損益計算書(連結)

P4 事業の種類別セグメント

【広告事業】

P5 第3四半期 損益計算書

P6 四半期売上高の推移

P7 品目別売上高の推移

P8 従業員の状況

【不動産事業】

P9 第3四半期 損益計算書

P10 第3四半期 連結貸借対照表

P11 2016年3月期 連結業績の進捗に関して

第3四半期 損益計算書(連結)

(単位：百万円)

	当3Q累計期間	構成比	前3Q累計期間	構成比	前年同期比
売上高	12,807	100.0%	13,281	100.0%	96.4%
営業利益	911	7.1%	1,063	8.0%	85.7%
経常利益	919	7.2%	1,107	8.3%	83.0%
当期純利益	554	4.3%	675	5.1%	82.1%

- ✓ パチンコホール業界は、引き続き収益面で厳しい状況が続いています。新規出店においては、既存ホール企業の買収や既存店を居抜きで取得し、改装オープンするなどの案件が増加傾向にあります。
- ✓ 主力の広告事業において、収益構造の転換を図るべく、インターネットメディアや屋外広告の積極的な拡販活動を展開するとともに、既存事業のスケールメリットを活かして異業種に向けたプリンティング、デザイン受託業務を開始し、収益の底上げに努めました。
- ✓ 結果、当3Q累計期間の売上高は12,807百万円(前年同期比△3.6%)、営業利益は911百万円(同△14.3%)、経常利益は919百万円(同△17.0%)、純利益は554百万円(同△17.9%)となりました。

事業の種類別セグメント

□当第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	広告事業	不動産事業	その他	調整額	連結
売上高	12,632	113	61	△0	12,807
セグメント利益	1,165	48	△16	△286	911

□前年同期比

(単位：百万円)

	広告事業	不動産事業	その他	調整額	連結
売上高	△539	+4	+61	+2	△473
セグメント利益	△182	+3	△16	+42	△152

✓ パチンコホール広告および通販広告事業が前年同期を下回ったことにより、連結ベースの売上高で△473百万円、また前年に比べ全社調整額の削減が進んだものの、セグメント利益は△152百万円となりました。

第3四半期 損益計算書(広告事業)

(単位：百万円)

広告事業	当3Q累計期間	前3Q累計期間	前年同期比
売上高	12,632	13,171	95.9%
営業費用	11,467	11,824	97.0%
セグメント利益	1,165	1,347	86.5%

✓ 当3Q累計期間のホール広告市場は、広告規制に伴う需要の減少に加えて、ホール経営企業の収益性悪化を要因とした広告費の削減が続いたことで、広告需要が低迷しました。こうした環境下で広告事業では、

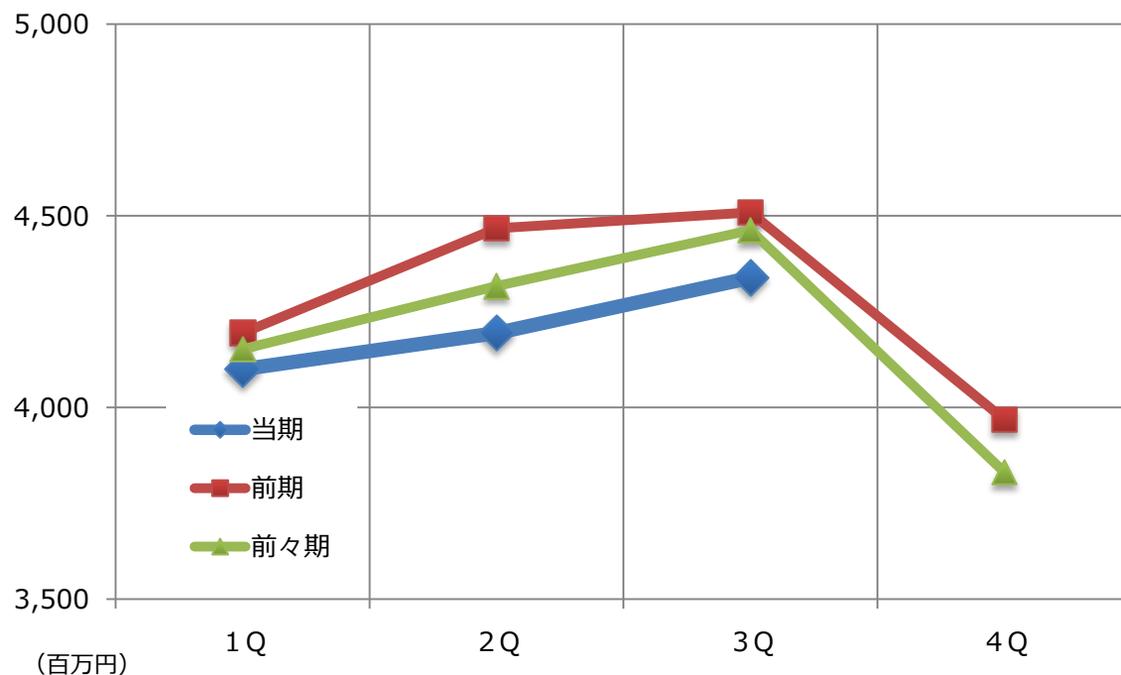
- ・特需案件の確実な受注に向けた営業活動と併行して、インターネット広告や屋外広告の取扱比率向上に向けた提案を推進
- ・デザイン業務の効率化によるコストダウン、協力会社の見直しによるDM関連原価の削減に着手
- ・異業種法人顧客向けのプリンティング、デザイン受託業務を本格開始

✓ これらの取り組みの結果、広告事業の売上高は12,632百万円(前年同期比△4.1%)、セグメント利益では1,165百万円(同△13.5%)となりました。

四半期売上高の推移(広告事業)

(単位：百万円)

	1Q	2Q	3Q	4Q	通期計
当期	4,100	4,194	4,338	-	12,632
前期	4,194	4,467	4,509	3,968	17,138
前々期	4,152	4,317	4,462	3,831	16,762



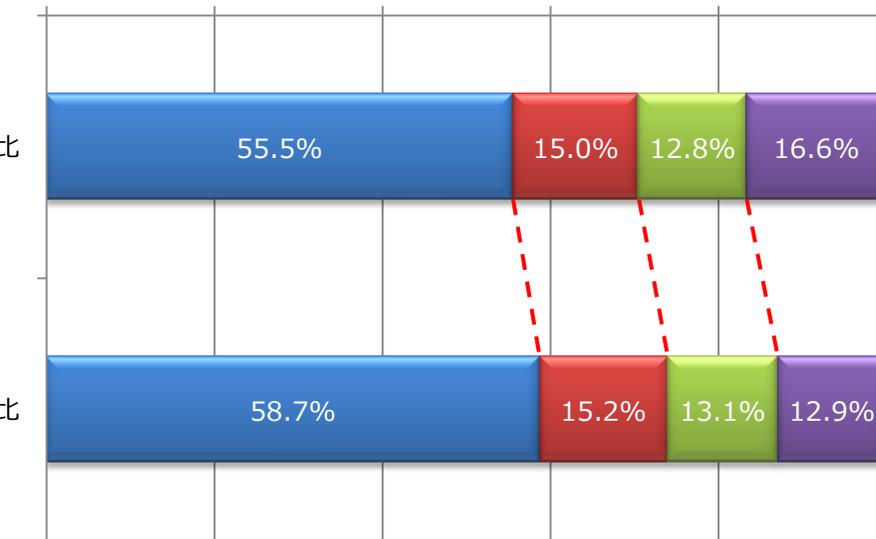
✓ 当3Qにおける広告事業の売上高は、前年同期に比べ171百万円減少しています。

品目別売上高の推移(広告事業)

(単位：百万円)

	当3Q累計期間	構成比	前3Q累計期間	構成比	前年同期比
折込広告	7,014	55.5%	7,731	58.7%	90.7%
販促物	1,893	15.0%	2,008	15.2%	94.3%
媒体	1,621	12.8%	1,727	13.1%	93.9%
その他	2,102	16.6%	1,704	12.9%	123.4%
	12,632	100.0%	13,171	100.0%	95.9%

0.0% 20.0% 40.0% 60.0% 80.0% 100.0%



✓ パチンコ広告事業の主力メディアである折込広告が、前年同期比で717百万円減少した結果、構成比も3.2ポイント低下しました。

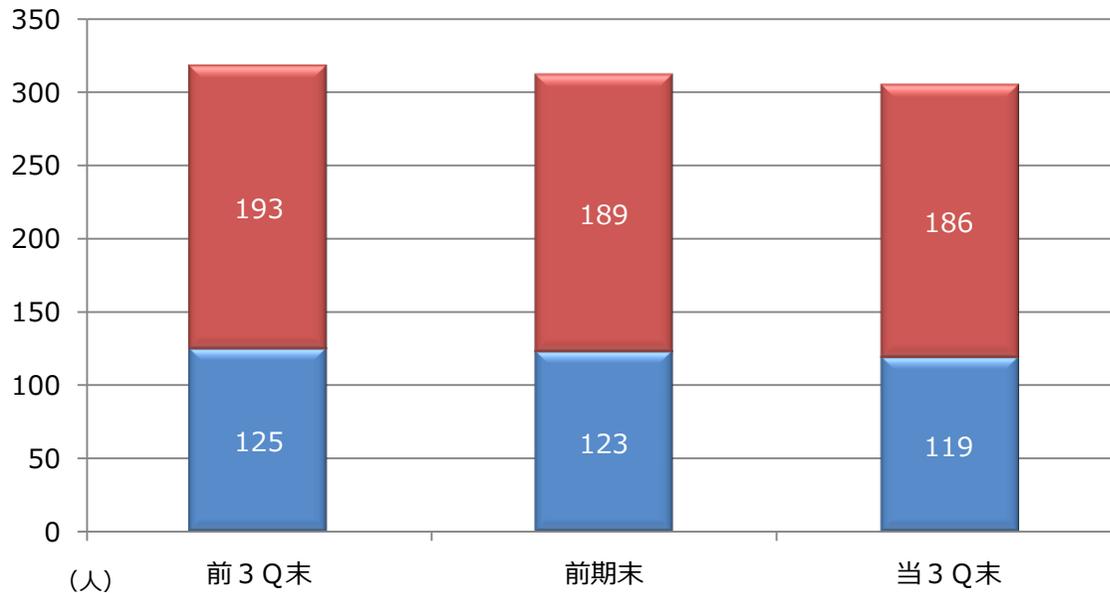
■ 折込広告 ■ 販促物 ■ 媒体 ■ その他

従業員の状況(広告事業)

(単位：人)

	前3Q末	前期末	当3Q末
売上原価【クリエイティブ・製作】	125	123	119
販管費【営業・管理】	193	189	186
広告事業計	318	312	305

■ 売上原価【クリエイティブ・製作】 ■ 販管費【営業・管理】



✓ 当3Q末の広告事業の従業員数は、過去に比べて減少傾向にあります。ゲンダイエージェンシーのクリエイティブは前3Q末比で△15人、ジュリアジャパンのクリエイティブは同+9人となっています。

第3四半期 損益計算書(不動産事業)

(単位：百万円)

不動産事業	当3Q累計期間	前3Q累計期間	前年同期比
売上高	113	109	104.0%
営業費用	65	64	101.6%
セグメント利益	48	45	108.3%

✓ 当3Q累計期間においては、既存契約で契約中の2件の他に、賃貸物件仲介案件があったことから、売上高は113百万円(前年同期比+4.0%)、セグメント利益は48百万円(同+8.3%)となりました。

第3四半期 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前期末 (A)	当3Q末 (B)	差額 (B) - (A)
現金及び預金	3,494	3,335	△159
受取手形・売掛金	2,105	2,622	517
その他流動資産	305	353	48
有形固定資産	939	948	9
無形固定資産	321	263	△58
投資その他資産	961	842	△119
資産合計	8,129	8,367	238
支払手形・買掛金	1,220	1,589	369
短期借入金（一年内返済予定の長期借入金を含む）	460	420	△40
未払法人税等	234	133	△101
その他流動負債	334	251	△83
長期借入金	490	535	45
その他固定負債	18	18	—
負債合計	2,758	2,947	189
株主資本	5,353	5,380	27
その他	17	37	20
純資産合計	5,370	5,419	49
負債・純資産合計	8,129	8,367	238

①納税、配当による減少

②12月取引高増加による増加

②12月取引高増加による増加

③四半期純利益+554百万円
利益配当△471百万円

2016年3月期 連結業績の進捗に関して

(単位：百万円)

	2016年3月期 3Q累計実績	前回発表通期予想 ※2015年10月16日発表	進捗率
売上高	12,807	16,000	80.0%
営業利益	911	1,000	91.1%
経常利益	919	1,000	91.9%
当期純利益	554	650	85.2%

✓ 2015年10月16日に公表した業績予想に対して、概ね当初計画通りに推移していることから、業績予想の変更はありません。

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の情報に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

・IR窓口 経営企画部 Tel.03-5358-3334